



おいちよう

令和2年11月 2日
発行 鶴瀬小学校No.9
049-251-0144・0149
文責：校長 松波徳美

学校教育目標 **かしこく《学ぶ》 やさしく《和す》 たくましく《鍛える》**

鶴っ子のめあて

にこにこ

きびきび

ぴかぴか



「 学びの秋 」

— 自分をアップデートしよう —

秋と言えば、食欲、芸術、スポーツ…何をするにもいい季節ですね。特に、私がおすすめたいたいののは、学びの秋です。

実は、この季節、学校の先生方にとっては、自分の行っている教育活動について、様々な場所でご指導いただいたり、発表したりする機会があります。例えば、11月4日に行われる、富士見市教育委員会による学校指導訪問です。各教科に分かれて、授業を見ていただきながら、発問の仕方や授業の進め方について、富士見市の教育委員会の方から教えていただきます。教員生活の長短に関係なくいろいろとご指導をいただきます。また、埼玉県西部地区の中で、11月30日に鶴瀬小学校が学級活動の指導の成果を発表します。子供たちが学級会の運営の方法を知り、折り合いを付けながら話し合う力を身に付けることで、自己肯定感を育み、学力向上へつなげるという取り組みです。子供たちが学級を主体的な活動の場にし、生きて働く力を養うことが、生きる力につながっているという研究の成果を発表します。

私も、11月11日の埼玉県の校長会で、「これからの学校を担うリーダーの育成」について発表します。詳しいことはこの紙面でお伝えしきれないのですが、チーム鶴瀬小学校職員の成長についてお話をしてくる予定です。

このほかにも、様々な場所で教職員は、自身の教育実践の成果を発表しています。表現するのは、恥ずかしいし、骨も折れます。また、ご指導をいただくのは、かなりのストレスでもあります。できれば避けて通りたいと思ってしまうこともあります。でも、これは自分をアップデート（更新）するチャンスでもあります。自分では気づかなかった言葉の足りなさや指導が行き届かない部分を指摘されることで、スキルアップにつながるというわけです。

教師として学校という場に立つ限りは、いつでも自分自身の知識やスキルをアップデートしていくことが必要です。「アップデートすればさくさく仕事はかどること間違いなし」と自分に言い聞かせて、教職員は「学びの秋」をがんばっています。

* 校長室の前の掲示板に、教職員の授業の様子や職務の様子を貼りました。来校の際はご覧ください。